

検証用資料 1

市民協働事業提案制度の内容と実績・課題 (検証用資料)

検証テーマ

推進計画に掲げた重点項目「市民協働事業提案制度」について、①団体からの提案件数 ②担当課からのテーマ提出件数（テーマ型のみ）ともに少ない状況にある。まちづくりの担い手育成につなげるためには、本制度の活用件数を増やす必要がある。

利用件数が少ない原因として、市では、①制度のPR不足、②制度そのものが活用しづらい の2点があると考えている。

この点について、委員の皆さまに検証いただき、改善すべき点についてご意見をいただきたい。

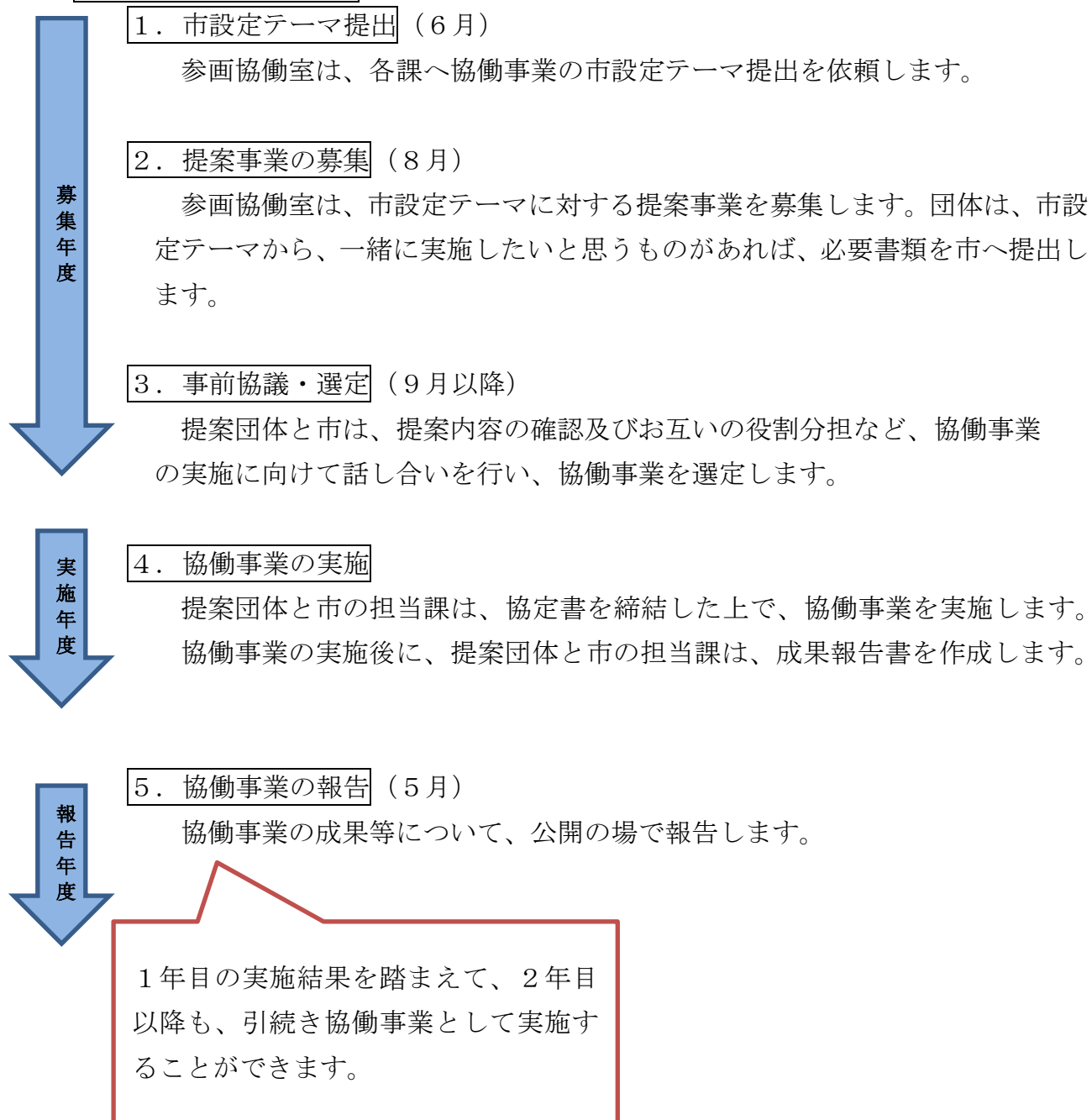
1 市民協働事業提案制度（テーマ型）

(1) 制度の概要

テーマ型協働事業は、25年度に制度がスタートしました。

市が市民と協働したいテーマを設定し、NPO やボランティアなどの団体から先駆性、専門性、柔軟性を活かした具体的な提案を募集し、提案があった団体と市で、事業内容やお互いの役割分担などについて話し合い、双方が合意すれば次年度から協働で事業を実施するものです。

事業実施までの流れ



(2) 実績

① 25年度募集事業

1. 市設定テーマ提出

平成 25 年度については、各課へ市設定テーマの提出を依頼し、4 事業を市設定テーマとしました。

【市設定テーマ】

1. 路上喫煙・ポイ捨て防止の啓発活動の充実

担当課：環境創造課



2. アライグマ・ヌートリアの捕獲と啓発

担当課：産業振興課



3. かわにし子どもの人権ネットワーク事業の企画・運営

担当課：人権推進課



4. 子育て中の親子を支援するイベントや講座の企画・実施及びプレイルームの運営についての検討

担当課：子育て・家庭支援課

総合センター



2. 提案事業の募集

4つの市設定テーマについて団体からの提案を募集したところ、1事業「子育て中の親子を支援するイベントや講座の企画・実施及びプレイルームの運営についての検討」について提案がありました。

※ その他3事業については、団体からの提案がありませんでした。

【募集期間】 平成25年7月1日～31日

【募集方法】

- ・広報かわにし7月号、市ホームページ、市フェイスブック、市民課待合室のテレビ画面へ掲載
- ・募集パンフレットを公共施設（市役所、公民館、コミュニティセンター、パレットかわにし、中央図書館等）へ設置し、市民活動センター・男女共同参画センター登録団体へ配付

3. 事前協議・選定

提案のあった1事業について、参画協働室、担当課、提案団体による事前協議を行い、双方合意できたため、平成26年度から協働事業を実施することになりました。

選定事業

事業名	協働相手	事業内容	担当課
子育て中の親子を支援するイベントや講座の企画・実施	NPO法人 育ちあいサポートブーケ	<親子で遊ぼうDAY> 親子がふれあえる場を月2回提供し、1～3歳の幼児とその親を対象に体操や自由遊びを通し、親子のふれあいを図る。	総合センター
		<親子の絆づくりプログラム 赤ちゃんが来た！> 初めての育児を行う母親を対象に、仲間づくり・育児の基礎知識習得・親子の絆づくりをサポートするプログラムの実施を通して、早期における親育ちを支援し、虐待の未然防止を図る。	子育て・家庭支援課

4. 協働事業の実施

担当課と協定書を結び、平成26年度に協働事業を開始しました。

平成27年度も引き続き協働事業を実施中です。

5. 協働事業の報告

市民協働事業について広く市民の皆さんへ周知するため、成果報告会を開催しました。(成果報告会は、平成27年度協働事業補助金審査会と同時開催)

日 時：平成27年5月26日（火）14時～

場 所：市役所7階大会議室

参加者：成果報告団体、H27市民協働事業補助金申請団体

その他一般参加の市民、市職員

報告内容

事業名	協働相手	実績	成果	担当課
親子で遊ぼうデー	NPO法人 育ちあいサポートブーケ	実施回数 計24回 参加者数 延べ1,318人 従事者数 延べ118人	参加者にとって ・安心感、参加しやすい。 団体にとって ・理念を追求した事業を実現できる ・安定的に事業を実施できる ・団体として成長できる	総合センター
親子の絆づくりプログラム 赤ちゃんがきた！	NPO法人 育ちあいサポートブーケ	けやき坂・川西南公民館において計2クール実施。ファンリテーターと運営補助を担当 (1回2時間、1クール=週1回×4週)	参加者にとって ・子育てしていく上でのスキル習得 ・乳児期の大事さを認識 ・親としての覚悟が決まる	子育て・家庭支援課

② 26年度募集事業

1. 市設定テーマ提出

平成26年度については、各課から市設定テーマの提出を依頼し、2事業を市設定テーマとしました。

【市設定テーマ】

1. まちづくりラウンドテーブル（座談会）の開催

さまざまな年齢、立場の人が集まってわいわいと自由な雰囲気でお話し合えるような場として、ラウンドテーブル（座談会）の企画・運営についての提案を募集します。



担当課：地域分権推進課

2. 川西の古い景観資料（写真など）の収集・調査・展示



川西の古い景観資料の収集や、いつの時代のものか分からない景観資料の調査や景観展、景観フォーラムでの事例発表などについての提案を募集します。

担当課：都市計画課

2. 提案事業の募集

2つの市設定テーマについて団体からの提案を募集したところ、1事業「まちづくりラウンドテーブル（座談会）の開催」について提案がありました。

※ その他1事業については、団体からの提案がありませんでした。

【募集期間】 平成26年8月1日～29日

【募集方法】

- ・広報かわにし8月号、市ホームページ、市フェイスブック、市民課待合室のテレビ画面へ掲載
- ・募集パンフレットを公共施設（市役所、公民館、コミュニティセンター、パレットかわにし、中央図書館等）へ設置し、市民活動センター・男女共同参画センター登録団体へ配付

3. 事前協議・選定

提案のあった1事業について、参画協働室、担当課、提案団体による事前協議を行い、双方合意できたため、平成27年度から協働事業を実施することになりました。

選定事業

事業名	協働相手	事業内容	担当課
まちづくりラウンドテーブル（座談会）	NPO 法人 市民事務局かわにし	市内コミュニティ団体単位の住民を対象に、世代間交流および「新しいつながり」のきっかけづくりを目的とし、ラウンドテーブル（座談会）を年3回程度開催する。 平成27年度実施地域はけやき坂とし、他地域へとラウンドテーブルを広げていく。	参画協働室

4. 協働事業の実施

「まちづくり井戸端会議 in けやき坂」を実施中です。

※参考 平成27年度の状況

1. 市設定テーマ提出

平成27年度については、各課から市設定テーマの提出を依頼し、2事業を市設定テーマとしました。

【市設定テーマ】

1. まちづくり連続講座の企画・運営

まちづくり活動のきっかけづくりを目的に開催している講座です。まちづくり活動を実践していて、担い手の発掘に興味がある団体からの提案を募集します。

担当課：参画協働室



2. かわにし子どもの人権ネットワーク事業活性化策の検討



15歳以上のサポーターが支援し、小学校4年生～中学生の子どもたちが体験活動や人権学習に取り組んでいます。今以上の活性化のため、活動に理解のある団体からの提案を募集します。

担当課：人権推進課

2. 提案事業の募集

2つの市設定テーマについて団体からの提案を募集したところ、2事業とも提案がありました。

現在、参画協働室、担当課、提案団体による事前協議中です。

【事前告知】

市民活動センター・男女共同参画センター登録グループ説明会において、27年度も協働事業提案制度（テーマ型）を実施予定であることをPRしました。

日 時 : 平成27年1月30日

場 所 : パレットかわにし

参加団体 : 80団体 (市活49団体/男女31団体)

配布資料 : 平成26年度市民協働事業提案制度 (テーマ型) 募集要領 (抜粋)

【募集期間】 平成27年8月1日~28日

【募集方法】

- ・ 広報かわにし8月号、市ホームページ、市民課待合室のテレビ画面へ掲載
- ・ 募集パンフレットを公共施設 (市役所、公民館、コミュニティセンター、パレットかわにし、中央図書館、アステ市民プラザ等) へ設置し、市民活動センター・男女共同参画センター登録団体へ配付

3. 事前協議・選定

現在参画協働室、所管課、提案団体と事前協議中です。

(3) 市が考えている課題

26年度は、2つの市設定テーマに対し、団体から1件の応募がありました。

27年度は、2つの市設定テーマに対し、団体から2件の応募がありました。

各課へ市設定テーマを依頼する際には、職員研修会を開催し意識啓発を行ったり、説明会を開きテーマ設定の参考になる事例紹介を行ったりしています。

この制度を使わずに協働の取組が行われるケースもありますが、各課からのテーマ提出及び市設定テーマに対する団体からの提案が、ともに少ない状況にあります。

利用件数が少ない原因として、市では、①制度のPR不足、②制度そのものが活用しづらい の2点があるのではないかと考えています。

市民協働事業提案制度 (テーマ型) の実施状況

募集年度	募集テーマ数	応募団体	選定事業数
25年度	4テーマ	1団体	1事業 (取組は2つ)
26年度	2テーマ	1団体	1事業
27年度	2テーマ	2団体	協議中

2 市民協働事業提案制度（自由提案型）

(1) 制度の概要

自由提案型協働事業は、26年度に制度がスタートしました。

社会的課題や身近な地域課題に対して、NPOやボランティアなどの団体が持つ先駆性、専門性、柔軟性を生かし、課題の効果的又は効率的な解決を図るため、団体から自由な提案事業を募集するものです。

公開プレゼンテーションにより審査を行い、協働事業として採択された事業の実施に要する経費の一部を補助します。

募 集 概 要

対象事業・・・市民公益活動団体等が実施する社会的課題などの解決に向けた自主事業で、第5次川西市総合計画に沿ったまちづくりを進める事業

提案者・・・一定の要件を満たす市民公益活動団体等

補助額・・・事業経費の2分の1（上限20万円・5団体程度）

※ 同一事業については3回を限度に補助

募集期間・・・4月1日～30日

応募方法・・・募集担当課へ郵送又は持参

(2) 実績

平成26年度については、補助金の交付団体を募集したところ、3団体から申請がありました。公開プレゼンテーションによる審査の結果、3団体とも採択し、各団体がまちづくり事業を実施しました。

【募集期間】 平成26年4月1日～30日

【募集方法】

- ・広報かわにし4月号、市ホームページ、市フェイスブック、市民課待合室のテレビ画面へ掲載
- ・募集パンフレットを公共施設（市役所、公民館、コミュニティセンター、パレットかわにし、中央図書館、アステ市民プラザ等）へ設置し、市民活動センター・男女共同参画センター登録団体へ配付

※ 産経新聞に協働事業補助金が新設された記事が掲載されました（プレスリリースは常に行っています。）

【事業の採択】

平成26年5月22日に公開プレゼンテーションを実施。

審査を行い、協働事業の採択の可否を決定しました。

採択事業

審査結果	事業名	実施団体名	事業内容	交付決定額
採択	赤ちゃん先生プロジェクト	赤ちゃん先生プロジェクト阪神北校	「中学生が育児中の母親とその赤ちゃんと共に命について考えることにより、命の大切さを学ぶとともに親になる準備を認識」をすることを目的に、「0歳～3歳児の赤ちゃんが先生となり母親と一緒に教育機関へ訪問し、赤ちゃん先生クラス」を実施する。	20万円
採択	川西の資源（豊かな自然・歴史等街の魅力）を共有し、発信しよう！	NPO 法人 川西再発見	会発足以来、歩いて学び知ったこと、地域の人から学んで見つけ出した川西のお宝・魅力（歴史・自然環境等）をまとめた「川西ええとこ絵図」ガイドブックを作成し、街の良さを共有し、自分の街に愛着を持った市民力で広く川西を発信し、街の活性化を図る。	20万円
採択	子ども・市民の水辺の生き物学習事業＝田んぼと小川編＝	身近な自然とまちを考える会	トンボ池や小川を活用し、子ども・市民の自然観察体験を実施する。 日本一の里山のすばらしさを体感し、心の醸成を図る。 ふるさと川西に誇りを持ち、市民で育てる学習ゾーンにする。	20万円

【成果報告会】

市民協働事業について広く市民の皆さんへ周知するため、成果報告会を開催しました。（成果報告会は、平成27年度協働事業補助金審査会と同時開催）

日 時：平成27年5月26日（火）14時～

場 所：市役所7階大会議室

参加者：成果報告団体、H27市民協働事業補助金申請団体

その他一般参加の市民、市職員

報告内容

事業名	実施団体名	実績	成果
赤ちゃん先生プロジェクト	赤ちゃん先生プロジェクト阪神北校	中学校2校 620名に対し1回、小学校1校 119名に対し5回の赤ちゃん先生クラスを実施した。	育児体験、母親からの話、赤ちゃんの成長見守りを通して、命の大切さを学ぶことで、参加者が赤ちゃんやお友達に優しくなっていく姿が見受けられた。
川西の資源（豊かな自然・歴史等街の魅力）を共有し、発信しよう！	NPO 法人 川西再発見	川西のお宝・魅力（歴史、自然環境等）をまとめ編集した「川西ええとこ絵図」を発刊し、会員、関係者はもとより市内の小学校、公民館や近隣も含めた図書館に配付公開した。 「川西ええとこ絵図」を携帯して秋に2回のハイキングを実施した。	「川西ええとこ絵図」を目にした多くの方々から強い関心を示され好評であった。 ハイキングの実施により、一般参加の市民から川西の良い所がよく理解できた感慨深いまち歩きだったと大変好評であった。
子ども・市民の水辺の生き物学習事業＝田んぼと小川編＝	身近な自然とまちを考える会	「トンボ池」看板と観察回廊の整備、現地までの道標を制作した。 1年間通して、トンボ池と小川の定点調査を実施した。 秋に2回、親子の水辺観察会を実施した。	小学校4年生の里山体験事業の学習ゾーンに付加してもらえることになった。

※参考 平成27年度の状況

平成27年度については、補助金の交付団体を募集したところ、4団体から申請がありました。公開プレゼンテーションによる審査の結果4団体とも採択し、各団体がまちづくり事業を実施中です。

【事前告知】

市民活動センター・男女共同参画センター登録グループ説明会において、27年度も市民協働事業提案制度（自由提案型）を実施予定であることをPRしました。

日 時 : 平成27年1月30日

場 所 : パレットかわにし

参加団体 : 80団体（市活49団体／男女31団体）

配布資料 : 平成26年度市民協働事業補助金募集チラシ

【募集期間】 平成27年4月1日～30日

※ 募集期間中の4月17日に、市民活動センター・男女共同参画センターが、「グループ運営と助成金の関係」をテーマに講座を実施。その中で、川西市の市民協働事業補助金を例にあげて、助成金の申請の仕方について説明しました。

【募集方法】

- ・ 広報かわにし4月号、市ホームページ、市フェイスブック、市民課待合室のテレビ画面へ掲載
- ・ 募集パンフレットを公共施設（市役所、公民館、コミュニティセンター、パレットかわにし、中央図書館、アステ市民プラザ等）へ設置し、市民活動センター・男女共同参画センター登録団体へ配付

【事業の採択】

平成27年5月26日に公開プレゼンテーションを実施。

審査を行い、協働事業の採択の可否を決定しました。

採択事業

審査結果	事業名	団体名	事業内容	交付決定額
採択 (継続)	赤ちゃん先生プロジェクト	赤ちゃん先生プロジェクト阪神北校	「小・中学・高校生が育児中の母親とその赤ちゃんと共に命について考えることにより、命の大切さを学ぶとともに親になる準備を認識」をすることを目的に、「0歳～3歳児の赤ちゃんが先生となり母親と一緒に教育機関へ訪問し、赤ちゃん先生クラス」を実施する	20万円

審査結果	事業名	団体名	事業内容	交付決定額
採択 (継続)	市民の水辺の生き物学習事業(子ども・市民の里山学習体験事業＝田んぼと小川の生き物編＝)	身近な自然とまちを考える会	トンボ池や小川を活用し、子ども・市民の自然観察体験を実施する。 子どもたちや市民に、日本一の里山のすばらしさを体感していただき、「ふるさと川西」に愛着を深めていただく。 子どもたちや市民で育てるフィールド学習ゾーンを構築する。	20万円
採択	スリーA 認知症予防脳トレゲームリーダー講座及び修了生対象レベルアップセミナー	認知症予防ケアグループきらら	スリーA(明るく、頭を使って、あきらめない)方式は、脳トレが盛り込まれている平易なゲームであり、笑い合い楽しむことで認知症予防にその効果が認められている。 脳トレゲームリーダーを養成し、地域での認知症予防教室や福祉サロン等で活躍するボランティアを養成する。	14万円
採択	まちかどミーツワールド～マレーシア編～	劇団GUMBO	日々の暮らしの中で、あまり知る機会のない国の文化を市民の皆さんに紹介し、外国文化への理解を深めていただくことを目的に開催する“小さな国際文化祭”。 今年は、「マレーシア」を特集する。多民族国家が織りなす豊かな歴史文化と、熱帯雨林が育んだ壮大な自然を擁する同国の魅力を知っていただく体験型プログラムを実施する。	20万円

(3) 市が考えている課題

平成26年度は、20万円×5団体程度の補助金交付枠に対し、3団体から交付申請がありました。

27年度は、同じ補助金交付枠に対し、4団体(継続2団体、新規2団体)から交付申請がありました。

今後、継続団体からの申請も含め申請が増える可能性はありますが、まだまだ、申請団体が少ない状況にあります。

申請件数が少ない原因として、市では、①制度のPR不足、②制度そのものが活用しづらいの2点があるのではないかと考えています。

市民協働事業補助金の交付状況

募集年度	募集枠	申請団体数	採択団体数	交付決定額
26年度	20万円×5団体程度	3団体	3団体	60万円
27年度		4団体	4団体	74万円